



総合教育センターだより

119号 平成29年3月発行 山梨県総合教育センター

教育は人なり

所長 深澤 眞悟

弥生となり、寒さもしだいにゆるぎ、草木の萌芽や開花を多く見かけるようになってきました。

昨春のセンターだよりで、2030年には、人工知能（AI）やロボット等の技術発展で急速に社会が変わりそうであるということを紹介させていただきました。そして、8月5日の新聞に、AIによって命が助かったという医療分野はじめての成果という記事があり驚いたところです。

これからの時代、人は人工知能とどのように関わればいいのでしょうか。AIに負けない、あるいはAIと正面から競わない、どうAIを使いこなせばいいのか、そもそも人の幸せや生きる力やたくましさを身に付けることとはどういうことか、あらためて自問しているところです。これからは認知的スキル領域でAIに攻められるという状況でしようが、人だからできること、人と人をつなげる、相手を見ての教え方、感動を与える、ほめるなど感性が大切ではないかと思うからです。

さて、次期学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が示され、「主体的・対話的な学び、深い学び、協働的な学び」が言われています。また、小3・4での外国語活動、小5・6教科型外国語教育、プログラミング教育などがあります。何ができるようになるか、未知の課題にも対応できる考え抜く力、知識基盤型・グローバル社会で働くために必要な知識や技能の習得と活用が大切となっています。

本センターの今年度を振り返りますと、昨年4月に指導主事に職名変更し業務を行ってまいりました。研修会には延べ15,000人を超える参加者があり、延べ360件を超える学校訪問・出前研修等を実施してきました。アンケートでは、「教育の新しい流れが分かる。授業づくりの参考になる。演習が充実。教員の学び合いがある。自分が変わる。」など多くの前向きな意見をいただいています。研究では、多くの学校と先生方に授業モデルの開発と公開の検証授業等に協力をしていただきました。研究大会では、新しくラウンドテーブル形式で、校種教科を越えての交流にチャレンジしました。eラーニング研修も試行を行い、好意的な評価をいただいております。

センターも着実に変容を始めるスタートの1年だったと思います。そして、いずれ教員・教育の変容は、生徒の変容を生むと考え、社会の変容に対応できるのではないかと思います。

この1年間、多くの先生方や学校、関係者・関係機関の御支援にあらためて感謝申し上げます。そして、来年度も多くの方々に山梨県総合教育センターを利用していただき、教育課題の解決の一助としていただけますように、本センターも更に体制を整え、確かな教育支援ができるように努めて参ります。

「やまなし 学びの未来」の創造を目指して

研究開発部長 森澤 和仁

去る2月23日（木）300名を超える教職員・教育関係者をむかえ「センター研究大会 実践交流ラウンドテーブル2017」が「やまなし 学びの未来」のテーマの下に開催されました。

今年度は、学校現場の多忙化解消のため、終日開催から午後半日の開催としました。前半は、「特別研修会Ⅱ」を兼ねた「特別講演」、後半は、従来の講義発表形式から趣向を変え、双方向交流形式とした「ラウンドテーブル」を新たな企画として実施しました。

特別講演では、中央教育審議会教育課程部会長で白梅学園大学教授の無藤隆先生に「学習指導要領の改訂—何を指すか—」と題した講演をしていただきました。

学習指導要領改訂の考え方のポイントとなる「社会に開かれた教育課程」、「資質・能力の三つの柱」、「主体的・対話的で深い学び」等について、言葉の理解から改訂のポイントまでわかりやすく解説がされ、何を指すのかという視点や背景を知ることと共に重点化（メリハリ化）が必要であるという気づきを得ることができた講演でした。

新企画のラウンドテーブルでは、参加者が各校種織り交ぜ43グループに分かれ、センター指導主事や山梨大学のアドバイザーがファシリテーターとなり、センター研究の成果報告等を議論の足がかりとして、開催テーマ「やまなし 学びの未来」のもと、自由に意見交換を行いました。

参加者からは、有意義な研究大会であったとの多くの感想をいただいた今回の研究大会ですが、今後も本センターが取り組んでいる学校教育を支援する実践的な研究の深化と周知を目指していきたいと思っております。



研修指導部



教師の資格は、自分自身が
進歩していることである

この言葉は、ノーベル医学・生理学賞を受賞した大村智博士のお母様が、日誌の最初のページに書かれていたもので、教師であった自分を戒めていた言葉だそうです。大村先生の母親は、大村先生が小学校4年生の終戦の時まで、小学校の教師をされていました。今から70年以上前、今とは比べようもない厳しい社会情勢の中で、このような高い志をもって教職に向かわれていたことを知ると、身の引き締まる思いがします。

私たち教員は、如何に時代が変化しようとも、子供たちの将来の道しるべとなるように、常に成長し続けることが求められています。「学び続ける教員像」は、そのまま子供たちの模範になり、教員が前向きに挑戦を続けていくことこそが何よりの教育になります。まさに「教育は人なり」です。

教職員の多忙化が大きな問題になっています。日々の業務に追われ、自分の仕事をこなすだけでも精一杯の状態です。かつて現場では、若い教師を職場で育てる時間的、精神的な余裕もありましたが、今はその余裕すらありません。今後の10年間で教員の34%が退職する、大量退職、大量採用の時代を迎えています。現場での実践の中で先輩教員から、新人教員へ知識・技能が伝承される側面が強かった教職員の資質能力の向上は、教職員の年齢構成から見ても難しい時代になりました。

学校が教育の中心を担う時代になって以来、「教育の最初で最後の問題は教員である。」と言われてきました。山梨県総合教育センターでは、先生方が自信を持って教壇に立てるように、先生方のキャリアステージに応じた様々な研修会を企画・運営しております。ぜひ高い志を持って、積極的に研修会に参加し、自分自身の資質の向上と、学校教育の充実のために活用していただきたいと思えます。**全ては子供たちの未来のために！**



研究開発部

センター研究の推進 次年度の研究については、スタイルを変更し、次期学習指導要領改訂を見据えた今後の学校教育に必要な先進的な事項に関する『先進プロジェクト研究』、学校現場の現状に即した今日的な教育課題解決に向けた学校や教職員の教育力向上を支援するための『教育実践研究』に取り組む予定です。なお、次年度の研究大会は、平成30年2月22日（木）に開催する予定です。今年度同様、多くの先生方の参加をお待ちしております。



ラウンドテーブル



来年度に向けて

教育情報の収集・調査の実施 教育図書や雑誌の購入、教育関係機関や県内各学校の研究紀要等の収集に当たります。また、校内研究主題等調査や教育課題調査を実施する予定です。

一般留学生研究の推進 来年度は、1名の一般留学生が学校現場（小学校）より派遣されることが内定しています。センター指導主事及び学校現場の研究協力員の支援体制の下で「国語科における言語活動の充実」についての研究を行うこととなっています。なお、平成30年度の一般留学生の募集は8月中旬から9月にかけて実施する予定です。多くの先生方の応募をお待ちしております。

学校教育の支援・相談 「校内研究の進め方研修会」の開催や校内研究に関する相談業務を通して、各学校の校内研究の活性化・充実に向けた支援を行っています。年2回の「特別研修会」では、全国で御活躍の講師を招聘した講演を計画しています。6月29日（木）の特別研修会Ⅰでは、『みんなの学校』の舞台となった大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子先生に御講演をしていただく予定となっています。

いよいよ始まる「やまなしeラーニング(YeL)」

受講者の利便性(いつでも・どこでも・何度でも)を考え、平成29年度からeラーニング教員研修を行います。eラーニングの教員研修への活用は、国レベルの施策においても、生涯学習の視点から学習の支援ツールとして、活用する方向性が示されています。また、他県においても導入が進みつつある状況で、その実施上のメリットが明らかになりつつあり、集合研修とeラーニングを組み合わせる形で実施されている場合が多いと思います。

メリットとして、①集合研修で行う日数を少なくし、または研修時間の短縮等の手段として、eラーニングを導入する。②従来の研修講座の講義の部分などをeラーニング化することにより、集合研修中の演習や実習に充てる時間を増せる。などが挙げられます。次の表が来年度のYeL対象の研修会(予定)ですので、楽しみにしてください。

研修番号	研修会名(予定)	研修番号	研修会名(予定)
101	新校長研修会	309	カリキュラム・マネジメント研修会
102	新教頭研修会	406	いじめ予防と解決に関する研修会
103	新主幹教諭研修会	501	特別支援教育専門研修会
104	新教務主任研修会	604	初めてのiPad体験研修会
105	新生徒指導主事・主任研修会	605	初めてのiPad体験研修会
106	中・高・特(小中高)新学年主任・新学部主事研修会	606	小学校・特別支援学校のための授業に役立つタブレット活用研修会
107	新研究主任研修会	607	中学校・高等学校のための授業に役立つタブレット活用研修会
109	新特別支援学級担当研修会	608	ビデオ編集のためのiPad iMovie活用研修会
110	新特別支援教育コーディネーター研修会	609	ICT機器活用研修会
211	高校数学公開授業研修会	611	プレゼンテーション作成(PowerPoint2010)研修会
304	校内研究の活性化！研修会	612	校務処理のためのExcel2010活用研修会

相談支援部 *****



相談支援部では、様々な課題を抱える幼児児童生徒の健やかな成長を願い、本人と保護者はもとより、学校と先生方を支援しています。



～児童生徒への支援や対応で困っていませんか？～

【教育相談担当】

いじめや不登校等の予防や解決を目指し、児童生徒、保護者及び先生方を対象とした面接相談や電話相談(365日24時間体制で電話相談員が対応)、学校に出向いて学習会やケースに関する相談を実施しています。また、いじめや不登校等の予防や解決に生かせる研修・研究を行い学校に還元しています。

【特別支援教育担当】

障害があったり、発達に課題があったりする幼児児童生徒の教育の充実を目指し、本人、保護者及び先生方などを対象とした面接相談や電話相談、学校に出向いて学習会やケースに関する相談を実施しています。また、特別支援教育の現場に役立つ実践的な研修・研究を行い学校に還元しています。

【適応指導教室(石和・韮崎・都留こすもす教室)】

県内3教室において、不登校児童生徒の心の居場所づくりを第一に考え、人間味のある温かい教室運営を基本に、自立に向けた適応指導や学習指導を行っています。また、保護者や教職員からの相談にも応じています。





学んだことを胸に

一般留学生 齊藤 千代美

この1年間、兼ねてから取り組んでみたいと思って
いたことの研究に集中して取り組むことができる恵まれ
た環境を与えていただきました。



学校現場とは違う自分
主体の学びの場に最初は戸惑
い、日々悩みながらの研究
でしたが、多くの先生方に
御指導をいただく中で、少
しずつ研究が形となってい
くことにうれしさとやり甲
斐を感じることができまし
た。教育センターの指導主
事の先生方だけではなく、

協力員の先生方、研究協力校の先生方や子供たち、研修
でお会いした講師の先生方。本当にたくさんの方々に支
えていただき、自分にとって価値のある研究に取り組む
ことができました。

研究に関わって下さった全ての方々に感謝を申し上げ
ます。今回の研究や研修を通して学んだことを新たなス
タートに、今後もさらに研鑽を積みながら、今後の学校
現場での子供たちの指導に生かしていきたいと思いま
す。本当にありがとうございます。



これからの糧となる力をいただいて

一般留学生 小野 優子

現場で自分自身が課題と感じていたことに、どうやっ
て向き合えばよいのかを学ぶ貴重な時間と機会をいただ
きました。

あっという間の一年でしたが、何度も悩み、考え、少
しずつ積み上げていく研究の過程は、これまで経験した
ことのない自分への問いかけの時間だったように感じま
す。そして、そんな私の周りには、支えてくださるたく
さんの先生方がいました。きめ細かな支援をいただいた
主担当主事の先生、専門的な見地から助言をいただいた
支援グループの先生方、忙しい日々の中でいつも現場か
らの声を届けてくださっ
た協力員部会の先生方、
そして実践を行う上でい
つも温かい笑顔で迎えて
くださった研究協力校の
先生方や子供たち。たく
さんの方に支えていただ
いて、自分なりの研究を
進めることができました。



この一年間のすべての経験と研究の成果を今後の学校
現場での糧として、新年度より新たなスタートを切って
いきたいと思えます。本当にありがとうございます。



平成29年度

研修会申込手続について

平成29年度「研修会申込事務説明会」を
次の日程で開催いたします。

各校の申込事務担当者の先生1名は、必ず
御参加くださいますようお願いいたしま
す。このことについては、文書をメールで発
送しますので御確認ください。

●日時 4月11日(火)

14:40~17:00(受付14:10~)

●場所 山梨県総合教育センター大研修室

《研修会申込手続に関する主な日程》

- 3月10日(金) 各校へ「研修会申込事務説明会の
開催通知」の発送
- 4月11日(火) 「研修会申込事務説明会」
- 4月14日(金) 早期実施研修会申込締切
- 5月8日(月) 第一次受講申込締切
(7月20日までの研修会)
- 6月9日(金) 第二次受講申込締切
(7月21日以降の研修会)



編集発行 山梨県総合教育センター
山梨県笛吹市御坂町成田 1456
電話 055-262-5571
Fax 055-262-5572
発行責任者 所長 深澤 真悟
発行日 平成29年3月17日

http://cdb.kai.ed.jp/search.php?mode=category_list
センターのホームページを御活用ください

教育現場で役立つコンテンツ(学習指導案・紀要・デジタル教
材等)がご覧になれます